



応用地域学会 一般公開セッション

どなたでも自由に聴講いただけます
当日直接会場にお越しください

Jクラブ・大学・地域の連携で切り拓く地方創生

趣旨

1993年に10クラブでスタートしたJリーグは、それから四半世紀が経過した現在、地域密着を理念に、55クラブへと増加している。この間、日本の人口は2008年をピークに減少に転じ、地方創生・地域活性化の取り組みに注目が集まっている。Jクラブが地域において果たす役割への期待も高まっており、各クラブが模索を続けている。

このセッションでは、元Jリーガー、Jクラブ、大学それぞれの観点から、地域とJクラブ、大学が、ともに支えあい、ともに成長するための課題について議論したい。

日時：2019年11月24日（日）11:00～12:30

場所：佐賀大学 本庄キャンパス 教養教育大講義室
(佐賀市本庄町1)

概要

司会：田村一軌（アジア成長研究所）

報告：

「スマートスタジアム+Jリーガーキャリアパス」 中田浩二（筑波大学・鹿島アントラーズ）

「防災×スポーツ」 八角剛史（福岡地域戦略推進協議会）

ディスカッション：

ファシリテーター：吉田誠一（鹿島アントラーズ）

登壇者：

高橋秀人（サガン鳥栖）

中田浩二（筑波大学・鹿島アントラーズ）

八角剛史（福岡地域戦略推進協議会）

坂元康成（佐賀大学）

大澤義明（筑波大学・応用地域学会会長）



高橋秀人氏



中田浩二氏



八角剛史氏

主催：

応用地域学会 (<http://www.arsc.org>)

佐賀大学経済学部 (<http://www.eco.saga-u.ac.jp>)

お問い合わせ：**参加申込は不要です**

応用地域学会 第33回研究発表大会 実行委員会
(佐賀大学経済学部 亀山研究室)

arscsaga2019@gmail.com

登壇者紹介

(五十音順)



大澤 義明 (おおさわ よしあき)

1959年生まれ，青森県三沢市出身。筑波大学システム情報系教授・システム情報工学研究科長。専門は都市空間の数理的解析。筑波大学と鹿島アントラーズとのアカデミックアライアンス締結に尽力。2019年より応用地域学会長。



坂元 康成 (さかもと やすなり)

1961年生まれ，鹿児島県鹿児島市出身。佐賀大学教育学部教授。専門は運動学，コーチ学。佐賀大学サッカー部監督。九州大学サッカー連盟理事長，全日本大学サッカー連盟理事，佐賀県スポーツ推進審議会会長などを歴任。



高橋 秀人 (たかはし ひでと)

1987年生まれ，群馬県伊勢崎市出身。サガン鳥栖所属，ポジションはMF・DF。2010年FC東京に加入。2017年にヴィッセル神戸，2018年にサガン鳥栖に移籍。日本代表Aマッチ出場7試合。2016年より日本プロサッカー選手会会長。



中田 浩二 (なかた こうじ)

1979年生まれ，滋賀県大津市出身。鹿島アントラーズCRO。筑波大学大学院在学中。1998年に鹿島アントラーズに加入。マルセイユ（仏），バーゼル（瑞）でもプレー。2014年に現役を引退。日本代表Aマッチ出場57試合，2得点。



八角 剛史 (はっかく つよし)

1985年生まれ，千葉県市川市出身。福岡地域戦略推進協議会アソシエイト。2008年横浜FCに加入。2013年ギラヴァンツ北九州に移籍。2017年に現役を引退。2018年に地方シンクタンク協議会「論文アワード2018」優秀賞を受賞。



吉田 誠一 (よしだ せいいち)

1962年生まれ，茨城県土浦市出身。鹿島アントラーズ地域連携チームマネージャー。1985年から33年間，日本経済新聞社運動部でスポーツを担当。サッカーW杯は1998年から5大会連続で取材。



ウィンツス

佐賀・筑後地方に生息するカチガラスのリーダー。2005年よりサガン鳥栖公式キャラクター。



カッチーくん

心優しく天然系。でも好奇心は鳥一倍！2008年より佐賀大学公式キャラクター。

会場案内



佐賀大学本庄キャンパス
教養教育大講義室

Google Map

